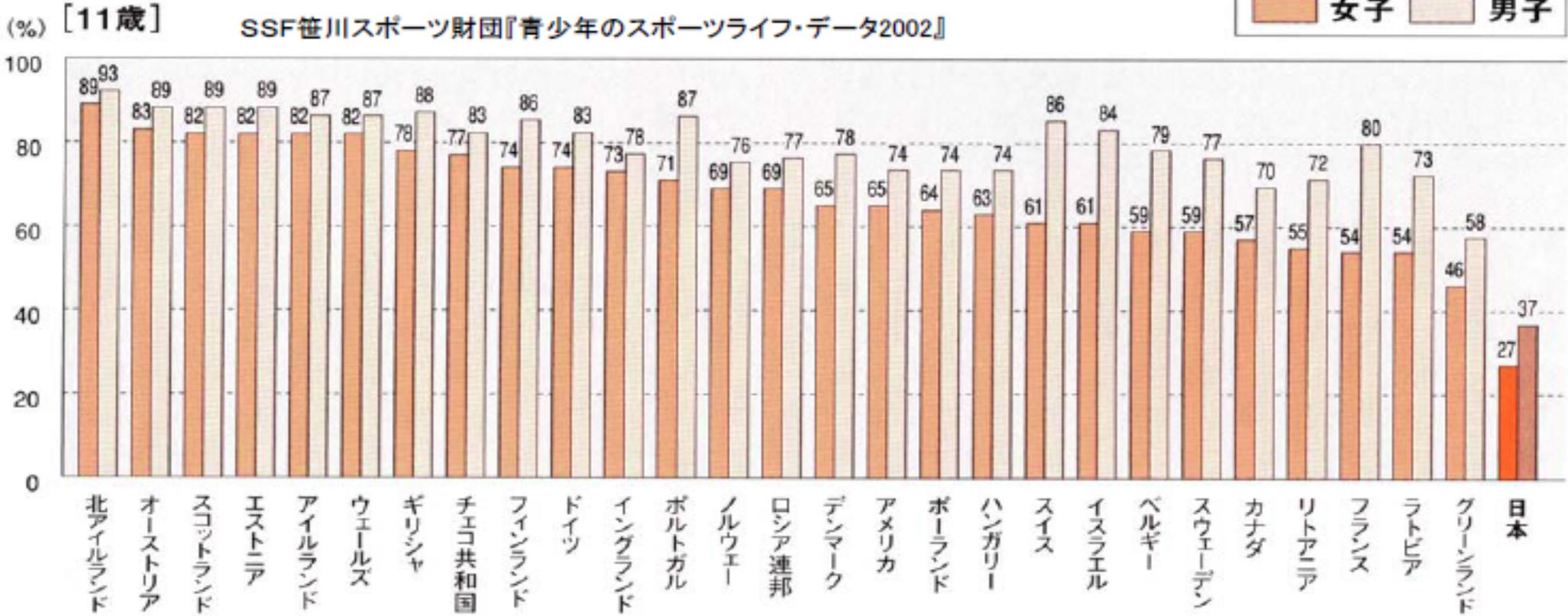


日本の子どもは世界で一番身体をうごかしていない

図1-9 「活動的な身体活動」週2回以上実施者の国際比較



週2回以上30分以上心拍数が120を越える運動

スポーツを大切に思う子どもを育てる スポーツ指導を求めて

京都における平成17年7-8月の調査

— 児童のスポーツ活動の現状を把握するための意識調査 —

図2-1 普段の体の調子 (n=1,383)

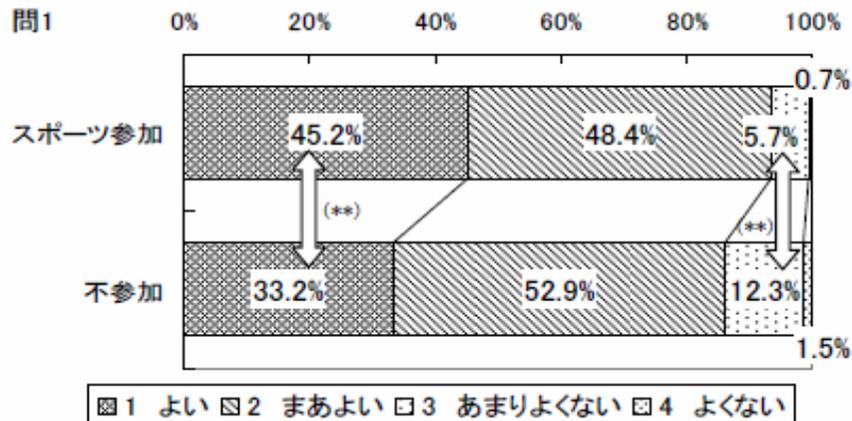


図2-2 生活の充実感 (n=1,383)

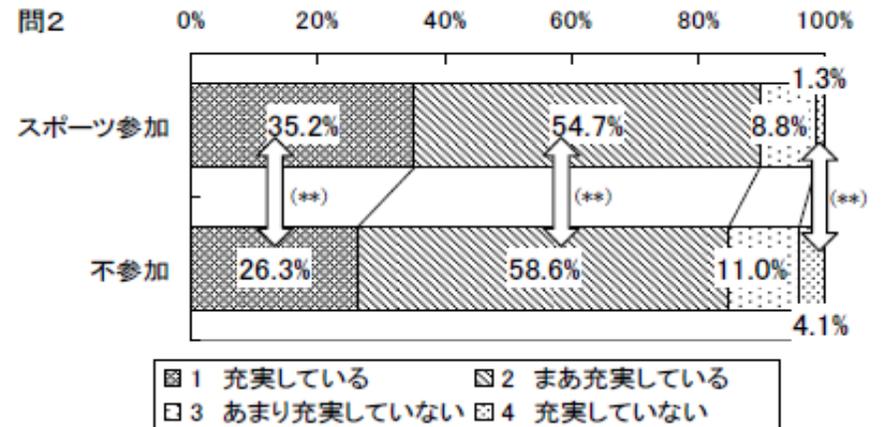


図2-3 就寝時刻 (n=1,383)

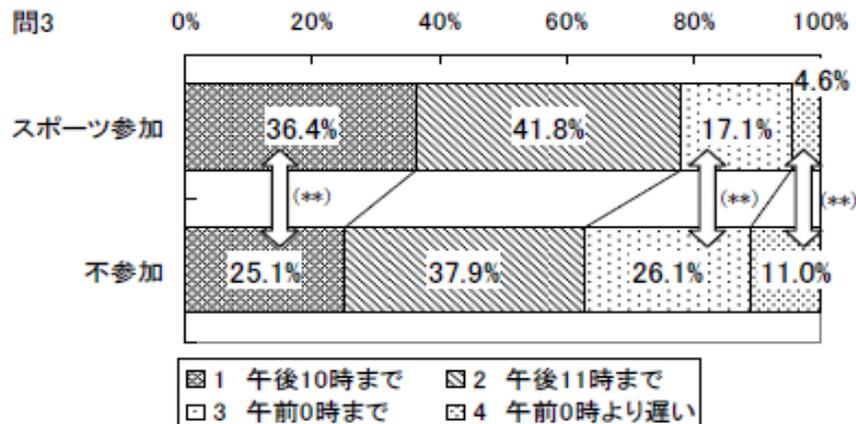
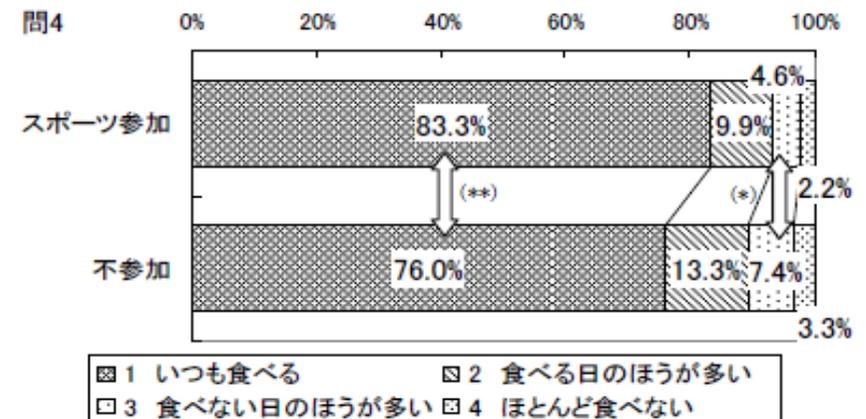


図2-4 学校のある日の朝食 (n=1,383)



日本では子どもにスポーツをさせているのですか！！

7) 子どものからだと心・連絡会議：子どものからだと心白書 2006

全体的に低下傾向であるが、特に小学生（11歳）の運動能力の著しい低下傾向が現れている。

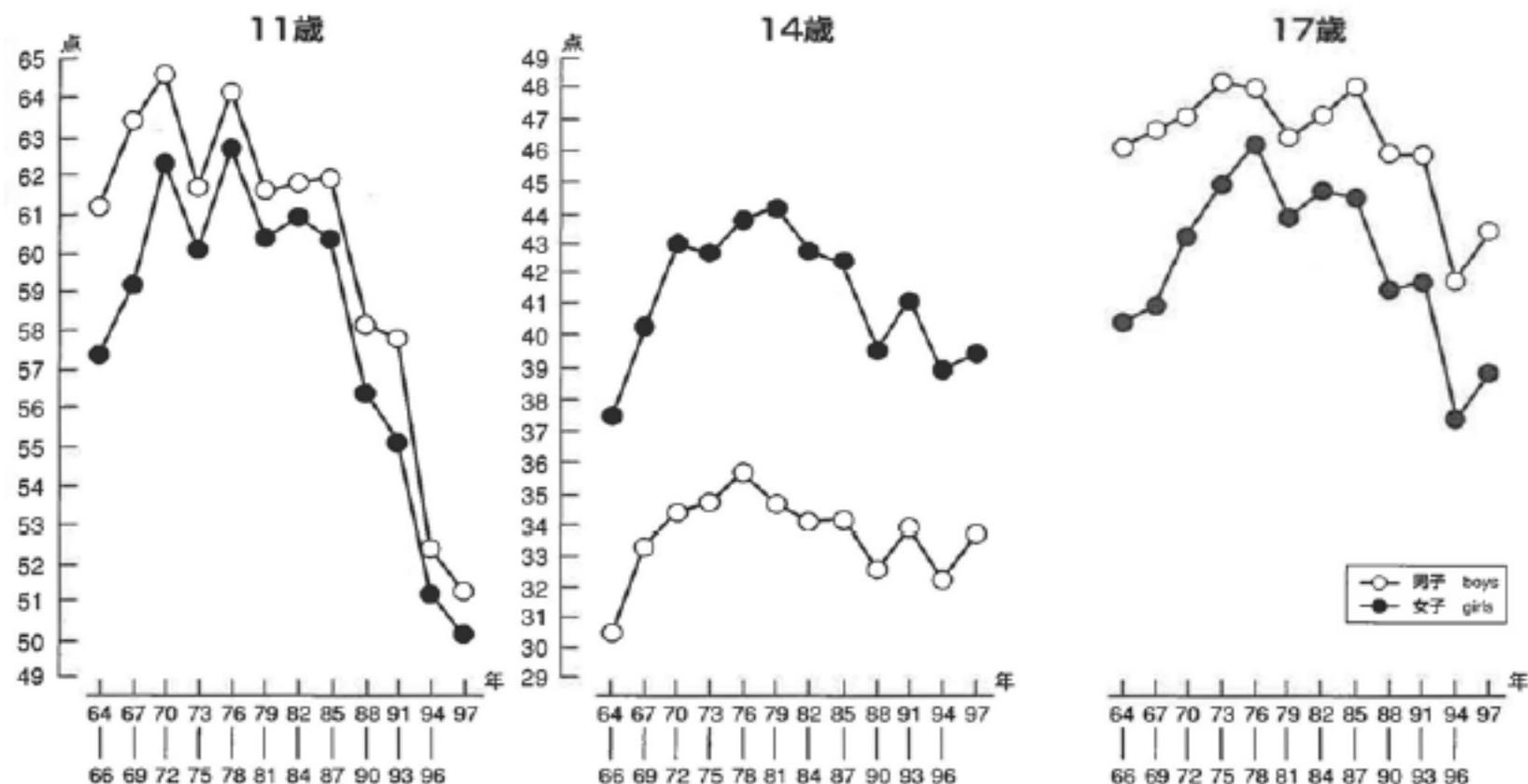


図 1-2-7)-1 スポーツテストにおける 11/14/17 歳の運動能力テスト合計点の年次推移
(文部省 (1997 年当時) 『体力・運動能力調査報告書』から)

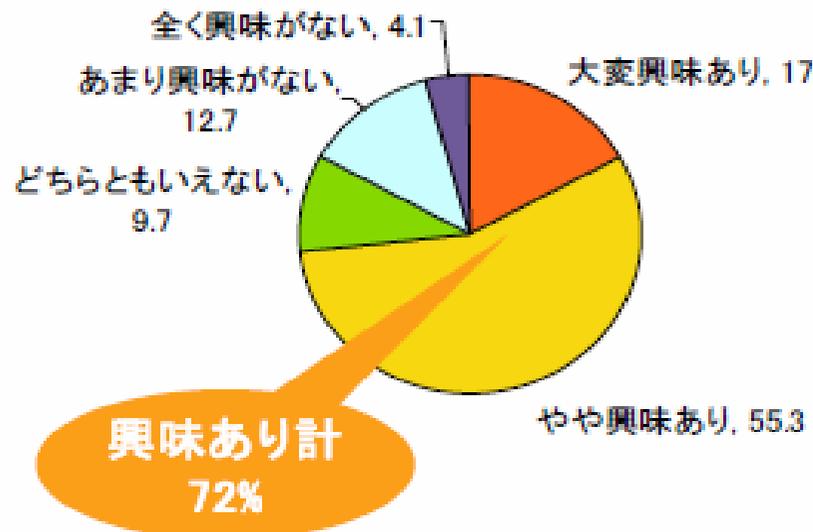
④子どもの食への関心

約7割の子どもが料理に興味アリ。はじまりは5歳がピーク。

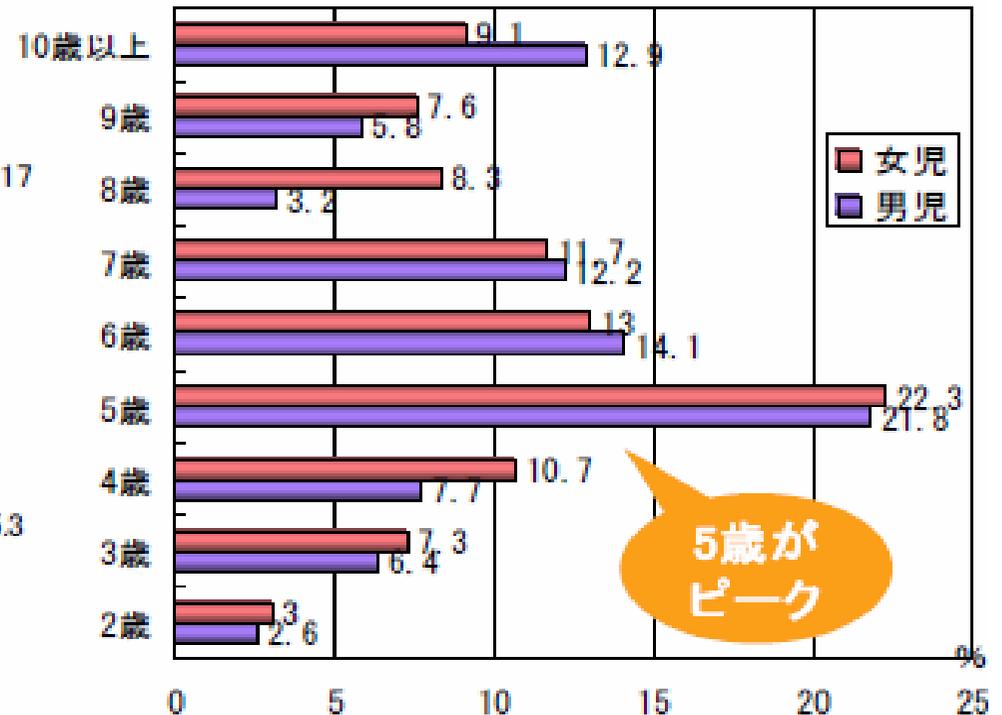
2. 調査概要

- 調査対象：1都3県の20代後半～40代前半のうち、長子が乳幼児、小学生、中学生以上の子どもがいる既婚女性各300名（合計900名）
- 調査方法：インターネット調査
（*ただし、インタビュー調査（計14名）により仮説設定後、定量調査を実施）
- 調査時期：2007年11月

長子(小学生)の料理関心度



料理に興味を持ち始めた年齢



都市研コラム

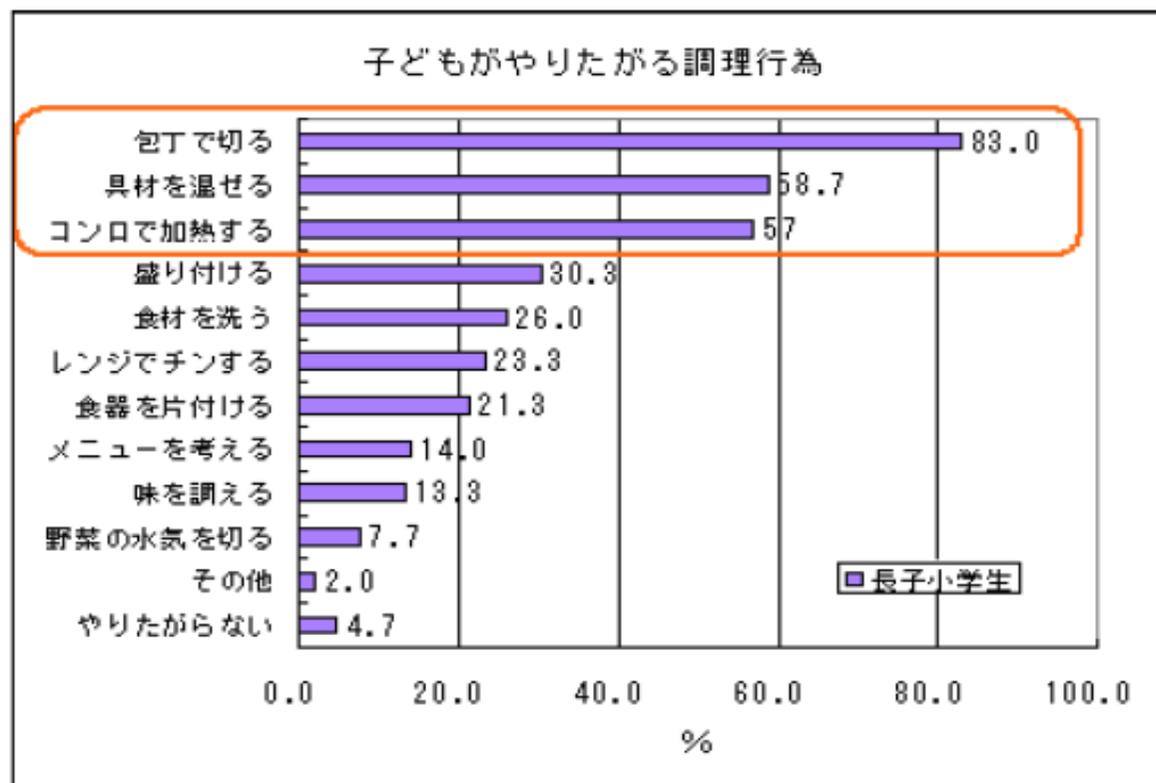
東京ガス都市生活研究所の研究員が、身近なテーマで送る生活科学コラム

子どもがやりたがる料理行為は「トン・こね・ジュー」。

荒井 麻紀子

2008年12月26日

都市生活研究所が子どものいる家庭に調査した「子どもがやりたがる調理行為」によると、子どもに人気の高い作業は、「トントン・こねこね・ジュージュー」すなわち、切る・混ぜる・焼くといった調理行為であることが分かります。食器の片づけなどの補佐的な作業よりも、いかにも調理しているという気分を味わえる作業を好む傾向にあるのです。



子どもは4歳くらいから料理に興味を持ち始め、小学生の72%が料理に関心を持っている。